

商店街活性化事業計画の概要

地域

神奈川県横須賀市

認定日

平成22年2月5日

事業名：「地球環境に配慮した安全・安心なまちづくり」による 三笠ビル商店街活性化事業

事業者名：三笠ビル商店街協同組合(神奈川県横須賀市)

事業実施期間 平成22年4月～平成25年3月

商店街活性化事業の概要

- ・地域住民からの「安全・安心」、「環境にやさしいまちづくり」に関するニーズに基づき、一店一エコ運動や地域巡回パトロールにより商店街の存在意義をアピールすると共に、アーケードの改修及びLED照明の設置、シャッターアート、防犯カメラの設置などを行い、商店街のイメージおよび安全性の向上を図るとともに売上の増加を目指す。

商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

- ・三笠ビル商店街を利用した方々(主として地域住民)に対してアンケート調査を実施したところ、LED照明を活用した街路灯への切り替え、防犯カメラの設置、歩きやすい歩道の確保、資源リサイクル促進、簡易包装励行などへの要望が多く寄せられた。

実施計画の主な内容

- ・老朽化したアーケードの改修及びLED街路灯の設置を行う。また併せて防犯カメラやドライミスト装置の設置、舗道の整備を行い、街区を明るく歩きやすい環境に整備する。
- ・デザイン専門学校との連携等により、街区内店舗のシャッターに絵を描く「シャッターアート」を実施する。
- ・地域一体となったエコ活動推進のために、ビン、缶、ペットボトル、古着などの回収と季節に関連した催しを加えたイベントを毎月1回の頻度で実施。商店街独自のエコポイント制度や割引券の発行等により、個店の販売促進につなげていく。また、各店舗が独自のエコ活動を実施する「一店一エコ運動」を行う。
- ・商店街ソフト事業については組合内に「商店街ソフト事業実行委員会」を組織し、事業を展開していく。

商店街活性化事業計画の目標

- ・地域住民の来街頻度・買物頻度、商店街に対する好感度や親近感を増加し、商店街構成店舗の収益性向上につなげていく。
- ・具体的な指標として、組合員の売上高を毎年度1%以上向上させ、事業終了年度には3%以上の増加を目指す。(歳末売り出し期間1ヶ月間における売上高 平成21年 4,900千円 平成24年 5,050千円)

